

【教育】学校看護師研修について

支援者

- ・前橋市教育委員会事務局教育支援課特別支援教育室



● 自治体の基本情報

人口	前橋市 328,536 人（令和 7 年 2 月末日現在）
医療的ケア児数	9 人（令和 7 年 2 月末日現在）

● 支援の背景や目的

支援を開始したきっかけや背景	・前橋市教育委員会では、平成 31 年 4 月の医療的ケア児の小学校入学と同時に、「医療的ケア対応看護師」の配置を開始した。 ・配置する看護師については、前橋市教育委員会が直接雇用する会計年度任用職員（臨時）とした。 ・令和 3 年 6 月の「医療的ケア児支援法」の成立により、看護師の配置を希望する保護者が増えてきた。 ・令和 3 年度までは医療的ケア児 1 名に看護師 2 名、令和 4 年度は医療的ケア児 2 名に看護師 6 名、令和 5 年度は医療的ケア児 7 名に看護師 15 名、令和 6 年度は医療的ケア児 10 名に看護師 18 名と増加しており、今後もさらに増えることが予想される。 ・このような中、課題としては、看護師を確保することの難しさがある。看護師の雇用にあたっては、常に「応募が少なく、離職も多い」という傾向がある。これは、医療機関ではない学校で、医師から直接指示が受けられない状況で、単独で医療行為を行うことに不安を感じる看護師が多いことが原因の一つと考えられる。 ・この課題解決に向けて、看護師が学校で不安なく医療行為を行えるようになることをねらい、研修や情報交換の場を提供した。
事業の目的	・学校における医療的ケアの意義や看護師の役割を理解し、看護師の知識向上を図る。 ・業務上の課題を共有し合うことで、課題解決及び看護師の不安解消を図る。

● 事業の実施内容とプロセス

事業の内容

1. 企画：「医療的ケア対応看護師研修会」を企画し、日時、講師、内容を決める。
2. 実施：研修会を開催し、参加した看護師の感想や様子を直接把握する。
3. まとめ：参加した看護師の感想や様子をまとめ、次の研修会の企画に生かす

経過・プロセス

【1. 企画】

- ・ 日時は、看護師が揃って参加できるように、夏季休業中（8月30日）とした。
- ・ 講師は、前橋市医療的ケア児等支援連携推進会議（自立支援協議会こども部会）にも参加している、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」に依頼した。

※研修会の内容について

- ・ 講義として、学校における医療的ケアの意義や看護師の役割を取り上げるとともに、事例を通して手技も学べるようにした。
- ・ 事前に聞き取った看護師の課題や思いを講師に伝え、講義の中で触れてもらった。
- ・ 講義だけではなく、看護師の課題や思いを出し合えるような情報交換の機会を設定した。

研修内容

1. 講義「学校における医療的ケアについて」
群馬県児童福祉課母子保健・障害児支援室障害児支援係
医療的ケア児等支援センター担当
2. 講義「医療的ケアの手技と事例紹介」
群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ EAST」
医療的ケア児等コーディネーター
3. 情報交換・意見交換

【2. 実施】

- ・ 当時雇用していた看護師 18 名のうち 17 名が参加した。
- ・ 講義について、看護師が熱心に聞き入る姿が見られた。
- ・ 情報交換は、3 グループに分かれ、講師にも参加してもらいながら、活発な話し合いが行われた。

【3. まとめ】

当日の様子や多くの看護師の「参加して良かった」等の感想から、定期的に研修会を持つという今後の方向性を確認した。

● 今後の課題やアドバイス

今後の課題や工夫した点

- ・学校における医療的ケアに関する研修会では、当然、医療と教育の両方の視点が必要である。
- ・前橋市教育委員会が単独で研修会を持つことは、容易ではなかったが、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」の開所により、学校において医療的ケアに従事する看護師の養成や、学校に配置されている看護師による医療的ケアの質の確保を目的とした研修を実施していただけるようになった意義は大きい。
- ・今回は、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」の協力のもと、「やっほ」で定期的に実施している研修の一部（実技を除く講義や事例紹介）を、前橋市教育委員会が直接雇用する看護師に向けて実施し、講義とともに情報交換の場を提供するようにしたところ、参加した多くの看護師から「同じ思いの人がいて安心した」や「悩みが解決できた」、「参加して良かった」との感想をいただくことができた。
- ・看護師には、今回の研修会をきっかけにして「やっほ」の実技研修にも参加していただき、担当する医療的ケアの習熟も図ってもらえればと思っている。
- ・今後も、市立学校で勤務する看護師が不安なく医療行為を行えるようになり、ひいては医療的ケア児の安心・安全な学校生活を保障するために、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」や市福祉部と連携・協力のもと、医療的ケア対応看護師研修会を継続し、内容の更新を図っていきたいと考えている。

同じ取り組みを行う他の支援者へのアドバイス

- ・前橋市教育委員会と同様に、委託ではなく、看護師を直接雇用している場合には、まずは、当該看護師が計り知れない不安を抱えている場合があることを理解する必要があると思います。
- ・長年、看護師として働いてきた方でも、医療機関ではない学校で、医師から直接指示が受けられない状況で、単独で医療行為を行うことに不安を感じ、その責任の重さから離職を考えてしまうことがあるようです。主治医の指示が看護師に明確に伝わるようにするとともに、保護者とのやり取りが難なく行える環境を整えることは言うまでもありませんが、これらに加えて、今回のような研修や情報交換の場を設定するも、看護師の不安解消につながることを実感することができました。

